

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達サポート系		
○保護者評価実施期間	2025年1月7日 ～ 2025年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 33
○従業員評価実施期間	2025年1月7日 ～ 2025年1月31日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個のニーズに応じた支援を実施している	一人ひとりのフォーマルな検査結果や行動観察並びに日々の保護者との情報交換（インフォーマルなアセスメント）から、一人一人の利用者の実態やニーズを把握することを重視している。それにより、一人ひとりのニーズに応じた課題設定や教材教具の開発を行っている。	アセスメント方法の開拓やアセスメントスキルの向上を図り、さらにそれらを総合的に分析できるようにすること。
2	保育園や特別支援学校などの現場経験者が職員が在職していることにより、福祉・教育に関する制度等の情報並び指導法に精通している。	制度の変更や新たな研究成果など最新情報を逃さないよう努力している。 外部専門機関が実施している研修会への参加を推奨。事業所として人材育成に力を入れている。	国内外の専門機関が実施するセミナーやトレーニングの開催情報の入手や参加の推奨を継続。
3	スタッフ同士の情報交換。	サービス提供終了後、その日の子どもの姿や活動中のスタッフ自身の動きなどについて事前と話す時間を設けている。 月1回、利用者全員の現状についての情報交換を全職員で行っている。	左記の事柄の継続。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける機会の確保	父母の会や保護者会といった組織だったものを意図的に企画はしていない。お迎え時にはできるだけ保護者の方に来所していただくという形をとる中で、自然と保護者間の交流が持てるような姿勢で臨んでいる。	お子さんの保護者は、地域に戻ると地域の保護者会もあり、兄弟児の保護者会もあると考える。そのようにたくさんの保護者会に参加することの負担感を考えると、地域の保護者会とのつながりとは違った、左記のようなつながりがあることは保護者さんにとってはほっとする場になるのではないかと考えている。
2	保護者向けの研修会の継続的な実施	希望者を対象にペアレントトレーニングを1クール（3ヶ月）実施したりしている。しかし、毎年同じように実施することについては、利用者の実態や利用時間などにより、実施できるスタッフの配置が難しく、継続が困難である。	ペアレントトレーニングや子育てに関する研修が実施できるスタッフを養成したり、実施できるスタッフの配置が出来るよう、人材育成やスタッフの増員について工夫していきたい。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	事業所が所在する地域における交流はなかなか難しいと考える。 本事業所では、利用者が自分の居住する地域で将来にわたって生きていく事の大切さを考えており、利用者が自分の地域の活動に参加することは必要だと考えている。	事業所が所在する地域での交流というよりは、あいサポートに関する催しなどに本事業所の利用者が作成したもの、書いた絵などの出品を通し、事業所の事業や利用者について広く知っていただくような工夫はできるかと考える。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども発達サポート系

公表日 年月日

利用児童数 年月日

回収数

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	6	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31			2		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31				子どもの気分やペースに合わせて活動内容を考えてくださり、行く前と行った後では表情が違っている子どもの様子に安心しています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	20	3		10		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30			3		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	3		10		

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	3				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	1		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	1		2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	5	3	10		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	2		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	30	3				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27			4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28			5		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	33					
	28	こどもはお通所を楽しみにしていますか。	32	1			いつもありがとうございます。子供も利用日を楽しみにしています。もっと利用できたらなあと思ったりしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	33				本人の居場所になっているなあと感じています。今日はこれをしたよ！などと話してくれます。逆に誰にも言えないことをこっそり先生にお話したりしているようなので、それもととても必要な事なんだなと思います。	

事業所名		こども発達サポート系					公表日 2025年2月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	1	職員の増員（採用）等を進めてきている。また、職員の勤務シフト等柔軟に対応するようにしながら対応。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		日々の清掃・消毒・備品の整理整頓等に努めている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員の打合せ会並びに定期職員会等の場を活用。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		外部評価については今後検討		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		定期的な法人内研修の実施並びに外部専門機関が開催している研修会に職員の希望や職責に応じ参加するような体制を作っている。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4					

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝の打合せ会等を活用	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	3	1	地域交流面での内容は薄い	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校行事等のHP上での確認はもとより、マチコミ等を利用し適宜調整等を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	どのような方法で地域のこども達と活動する機会が設けられるか検討。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		自立支援協議会子ども部会部会長を事業所代表が務めている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡帳の記入のみならず、基本的にお迎えに来られた際に、状況をお伝えするとともに、どのような取り組みをしていくのかその都度お話をいただいている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		日々利用者が変わる中でのペアトレ等の研修については難しいさを感じる。単発的な研修にならないようにするためにはどのような方法が良いか今後検討
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	2		父母の会や保護者会といった組織だったものを意図的に企画はしていない。お迎え時にはできるだけ保護者の方に来所していただくという形をとる中で、自然と保護者間の交流が持てるような姿勢で臨んでいる
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1		連絡体制についてはマチコミを導入。情報発信については、第一義的使命としての子ども達へのサービス提供への影響（質の低下）を及ぼさないように努めたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		今後検討
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		HP上にて公開	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		HP上にて公開	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		安全計画に基づいた避難訓練の実施等行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			